

## は じ め に

我が国では、少子高齢化が急激に進展しており、現在、国民の4人に1人が65歳以上の高齢者となっています。国の人口推計によると、いわゆる「団塊ジュニア世代」が65歳以上となる2040年には、この比率が3人に1人となる見込みであり、今後も高齢化の一層の進展が見込まれています。

本市では、「団塊の世代」が75歳となる2025年に向けて、高齢者一人ひとりが尊厳を保ち、可能な限り住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を推進してきました。また、介護保険制度に目を向けると、本市の要支援・要介護認定者数は、制度創設当初の2000年からおよそ3倍に増加し、介護が必要な方の暮らしを支える基盤として定着してきています。他方、今後の社会情勢を展望すると、医療・介護などのサービス需要の更なる増加やニーズの多様化が想定されることから、地域包括ケアシステムの深化や介護保険制度の持続可能性の確保など、地域共生社会の実現に向けた取組を充実させることが急務となっています。

このような状況を踏まえ、今般策定した新しい老人福祉計画・介護保険事業計画「長寿安心プラン2024」では、前期計画「長寿安心プラン2021」における取組を継承・発展させ、地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保や地域共生社会の実現へ向けた認知症施策の推進などに取り組むとともに、自然災害や感染症の発生時にあっても、継続的に必要な支援を受けられる体制整備など、高齢者の暮らしを支える多面的な施策の推進に努めていくこととしました。

本計画の策定に当たっては、学識経験者や公募委員などで構成された金沢市介護保険運営協議会及び同協議会に設置した長寿安心プランワーキングチームにおいて、約1年にわたり検討を重ねていただきました。また、市民フォーラムやアンケートを通して、市民の皆様のご意見もお聞きし、本年2月、同協議会からご提言をいただきました。今後は、本計画の具現化に向け、各施策に真摯に取り組み、高齢者をはじめとする市民の皆様がいつまでも安心して、いきいきと暮らせるまちづくりを進めてまいります。

最後に、本計画の策定に当たり、貴重なご意見・ご提言をお寄せいただいた市民の皆様、事業者の方々、特段のご協力をいただいた金沢市介護保険運営協議会及び長寿安心プランワーキングチームの委員をはじめとする関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

令和6年（2024年）3月

金沢市長 村 山 卓